# ヤンバルクイナ

## やんばるの森を歩む鳥

**学名：*Gallirallus okinawae***
**英名：Okinawa Rail**
**全長：約35ｃｍ 体重：約450ｇ**

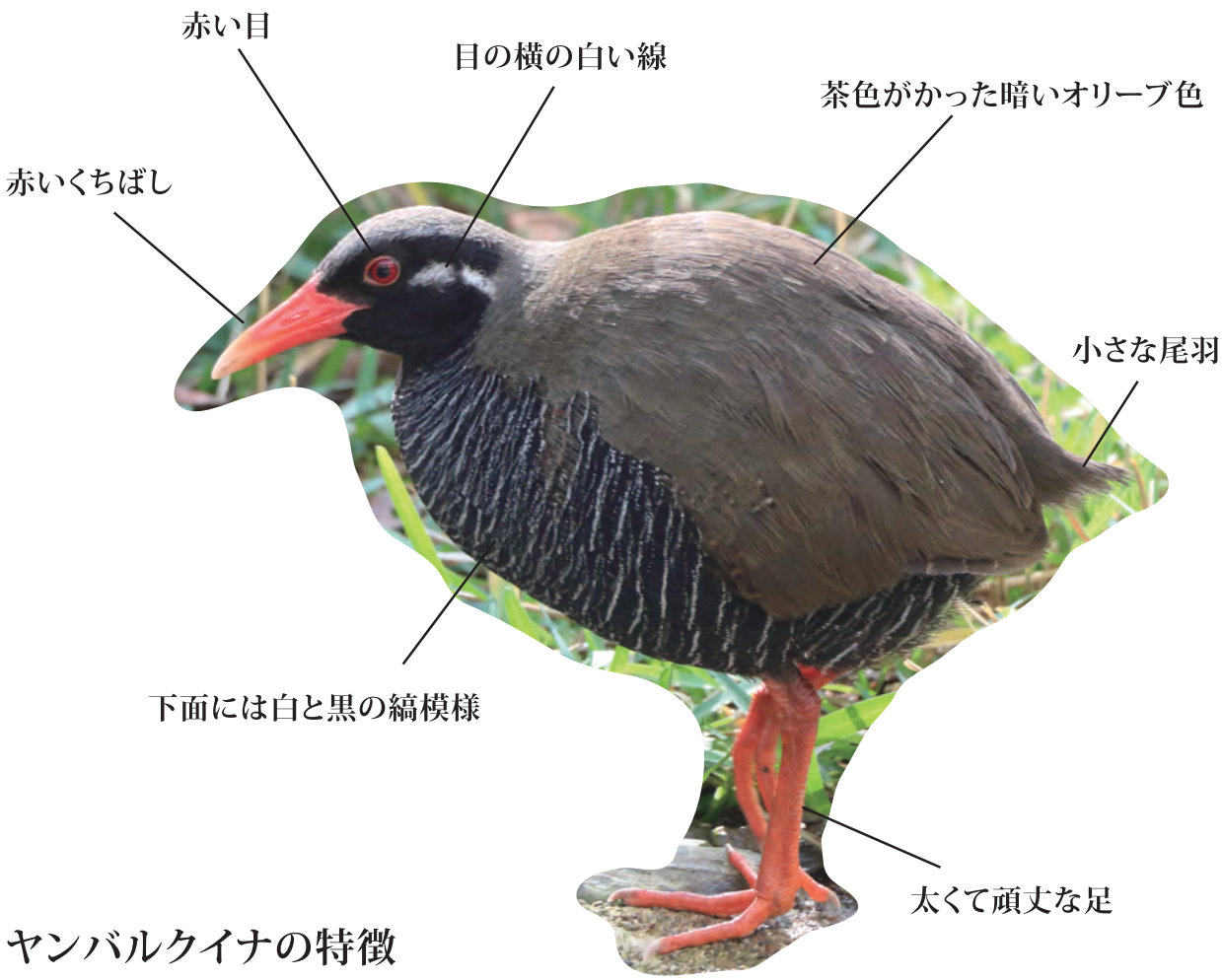
国内希少野生動植物種（絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律）
国指定天然記念物（文化財保護法）
絶滅危惧種（環境省、国際自然保護連合のレッドリスト）
国頭村の村鳥
頭から尾羽にかけての背面は暗オリーブ褐色で、顔は黒く、目の後ろから首にかけて白いラインが伸びる。
胸には縞模様があり、嘴と脚の鮮やかな赤色が美しい。
1981年に発見されたが、やんばるでは昔から「アガチャー」「ヤマドゥイ」と呼ばれていた。
日本で唯一の飛べない鳥。

環境省
Ministry of the Environment

写真提供：金城道男

# ヤンバルクイナってどんな鳥？

ヤンバルクイナは沖縄県北部のやんばる（山原）と呼ばれている地域だけに生息するクイナ科の鳥で、
日本で唯一の飛べない鳥です。
1981年に新種として発表され、世界中の人に知られるようになりました。




ヤンバルクイナの特徴

地上生活に適応した小さな翼

幼鳥は地味な色

ヤンバルクイナの足跡

# ヤンバルクイナの暮らし

## 一日の暮らし

ヤンバルクイナは主に昼間に活動する鳥です。日中は餌を探したり、水浴びをしたりして過ごします。夜になるとハブなどの天敵を避けるために木の上に登って立ったまま眠ります。

ヤンバルクイナは雑食で、餌は昆虫やミミズ、木の実など様々です。大きなカタツムリは殻を石にぶつけて割って食べます。

木の上で一本足で立ったまま眠る様子

カタツムリの殻を石にぶつけて割る

## 鳴き声

ヤンバルクイナの鳴き声はとても大きく、また鳴き方も様々です。
１羽が鳴き出すと、周りのヤンバルクイナが次々に鳴き出します。

**キョキョキョキョキョキョ……**
縄張りの主張・仲間やつがいとのコミュニケーション

**クリリリヤ―……**
求愛やつがいへのコミュニケーション

**ググ…ググ…**
ヒナへの呼びかけ、警戒の合図

**クェー、クェー……**
警戒の合図

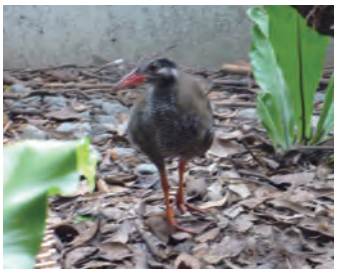
## 子育て

ヤンバルクイナは３月下旬から６月にかけて３～５個の卵を産みます。卵は３週間ほどでふ化し、オスとメス両方で子育てします。ヒナは２ヶ月ほどで成鳥と同じ姿になり、やがて独り立ちしていきます。

卵

ふ化後１日目

ふ化後21日目



ふ化後63日目

# ヤンバルクイナへの脅威

ヤンバルクイナの発見当時（1985年）、個体数は1800羽程度と推定されていましたが、2005年には1000羽以下に減少し、生息域も北部３村（国頭村、大宜味村、東村）から、ほぼ国頭村のみに縮小してしまいました。

## 外来種

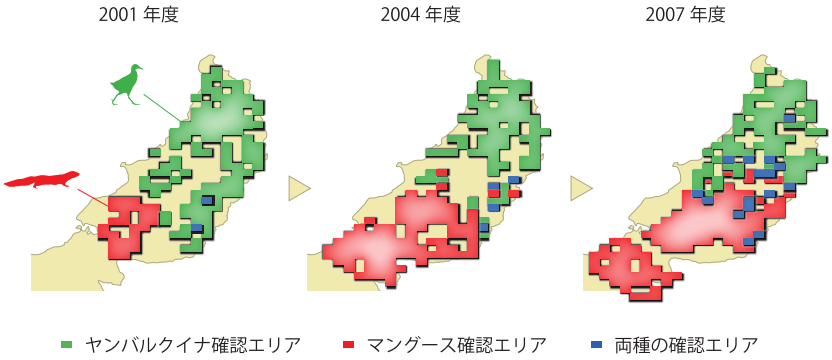
ヤンバルクイナの個体数が減少した大きな原因の一つは、人が持ち込んだ外来種による捕食です。

ハブの駆除などを目的に導入されたマングースや、野生化したネコやイヌの捕食によって、ヤンバルクイナは絶滅が心配されるようになりました。

下の図のように、マングースの分布拡大にともなってヤンバルクイナの分布域が減少しました。

フイリマングース

やんばるで撮影されたノネコ・ノイヌ




## ロードキル

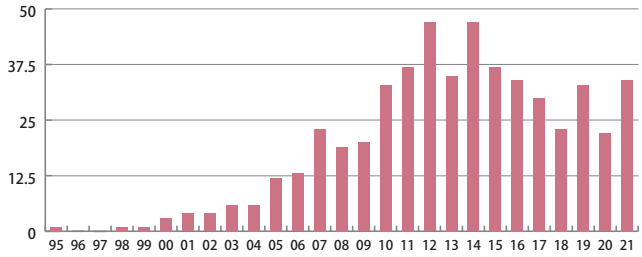
交通事故にあったり側溝に落ちてしまうなど道路の影響で生き物が死んでしまうことを“ロードキル” と呼びます。

ヤンバルクイナでは、特に交通事故が多発しています。2012年と2014年には過去最悪の47件の事故が発生しました。

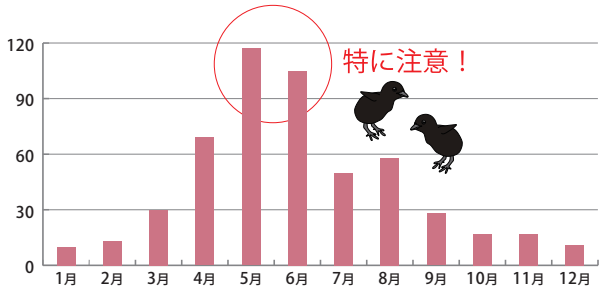
交通事故はヤンバルクイナの子育てが盛んになる4～6月に多く起きています。親鳥はヒナのためにエサを探して路上に出てくる機会が多くなります。

ヤンバルクイナは両親で子育てをする鳥です。片親が交通事故で死んでしまうと、ヒナも死んでしまうかもしれません。

交通事故にあったヤンバルクイナ




ヤンバルクイナの交通事故件数




月別の交通事故発生件数

# 保護の取り組み

一度は大きく数を減らしたヤンバルクイナですが、近年、生息数、生息域ともに回復してきており、
現在では約1500羽が生息していると推定されています。ここでは、ヤンバルクイナの保護の取り組みを紹介します。

## マングースの防除

ヤンバルクイナを捕食するマングースの数を減らすため、フェンスによって南部から新たなマングースがやんばるに侵入しないようにした上で、罠による捕獲やマングース探索犬による糞の探索を実施しています。

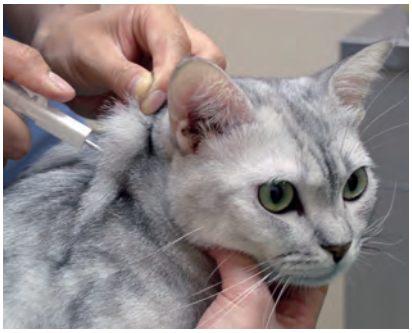
2000年から始まった防除事業によりマングースの数は大きく減少し、ヤンバルクイナは少しずつ回復しています。

罠を点検するマングースバスターズ ▶

## イヌ・ネコ対策

環境省・沖縄県でノイヌ・ノネコの捕獲、国頭村・大宜味村・東村で集落のネコの保護を行うと同時に、「ネコの愛護及び、管理に関する条例」を制定しています。

条例では、ネコを飼うには飼養登録が必要なこと、マイクロチップの埋め込みを行うこと、不妊去勢手術を行うこと、自分の飼うネコ以外へみだりに餌や水を与えないこと、放し飼いはしないこと等が定められています。



マイクロチップをつける飼い猫 ▶

## 個体数のモニタリング

スピーカーで鳥の鳴き声を再生し、鳴き返した鳥の声から生息状況を推定する調査方法をプレイバック法といいます。

毎年、やんばるの約250地点で、プレイバック調査によってヤンバルクイナの生息状況をモニタリングしています。

プレイバック調査の様子 ▶

## ロードキル対策

ロードキルを減らすため、交通事故が多発する道路に重点区間を設け、ドライバーに注意を促す看板を設置しています。

また、ヤンバルクイナが道路に出てこないためのフェンスを設置したり、車道の下に野生動物のためのトンネルを作るなど、生き物に配慮した道路づくりを行っています。

重点区間に設置された注意看板 ▶

# ヤンバルクイナの飼育と繁殖

ヤンバルクイナの個体数は少しずつ回復していますが、絶滅の危険はまだ去っていません。
絶滅を回避するため、2010年に国頭村の安田にヤンバルクイナ飼育・繁殖施設が建設されました。
施設では飼育個体のペアリングと繁殖、ヒナを育てる技術開発などを行っています。

※神経質なヤンバルクイナへの影響や感染症の持ち込みを避けるために、施設は原則非公開となっています。

飼育繁殖室

飼育個体の成鳥

飼料

育雛（すう）室

水浴び

ヒナたち

## 野生絶滅に備えた取り組み

ヤンバルクイナ飼育・繁殖施設では、野生のヤンバルクイナが絶滅してしまう事態に備えて、飼育下繁殖技術の研究を行っています。野生下でも生活していける個体を飼育下で生み出すための技術の確立を目指すとともに、絶滅という最悪の事態に備えた保険個体群として、ヤンバルクイナの飼育個体群を適切に維持しています。

2010年の開所から2022年までの間に、施設で（救護卵の孵化も含め）138羽が誕生しています。

## 飼育下繁殖の流れ

① 野外で捕獲された個体や、保護された個体を『**ファウンダー**』**にする**

飼育下繁殖で最初の親となる個体（＝創始個体）のことを『ファウンダー』といいます。

② 性格や遺伝子型に配慮しながら**ペアリング（つがい形成）を行う**

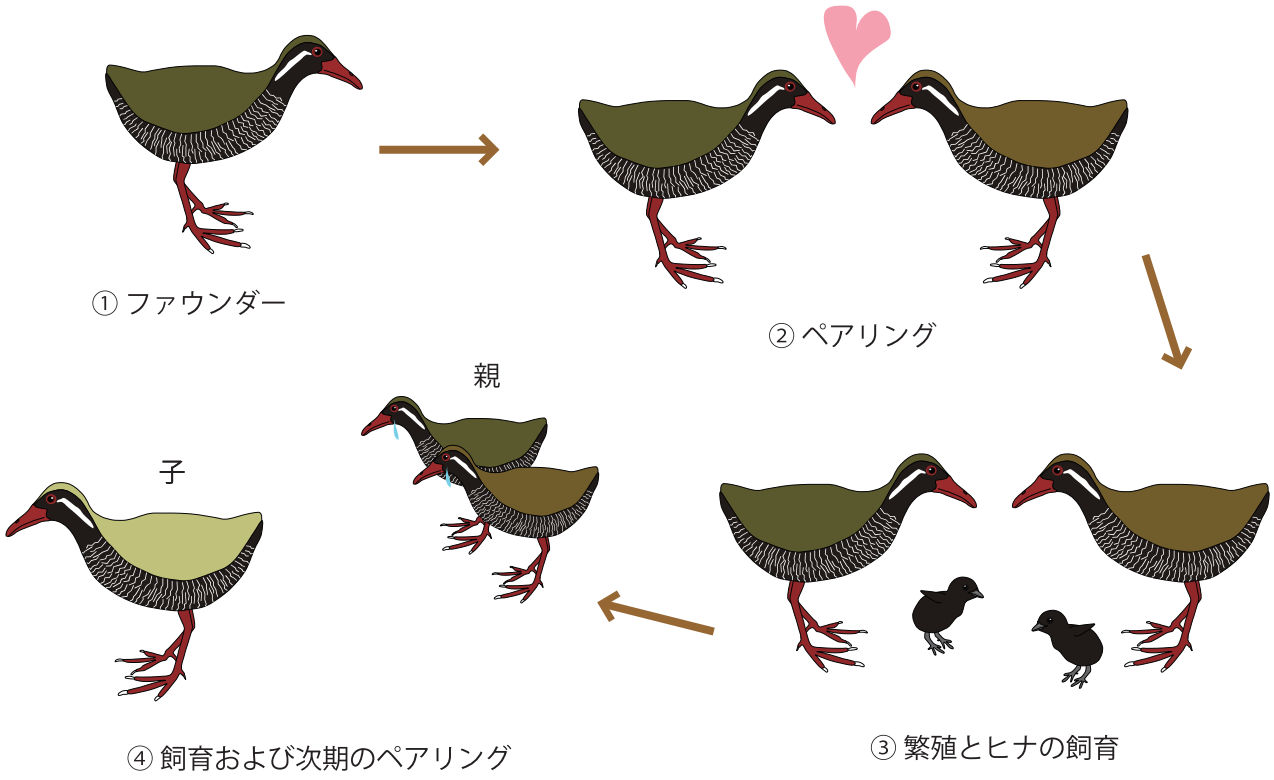
相性がよくないとケンカをしてケガをすることもあるので、注意深く観察しながら進めていきます。

③ ペア（つがい）から生まれた**ヒナを育てる**

生まれる卵の数、ヒナが孵るまでの日数、親鳥やヒナの行動などを研究し、飼育技術開発に取り組んでいます。

④ ②～③を繰り返し、野生個体群と同等の遺伝的多様性を備えた**飼育個体群を創出・維持する**

飼育個体の遺伝的な多様性に注意しながら数を増やしていきます。飼育個体を野生に復帰させるための試験も実施しています。



# ヤンバルクイナの歴史

（発見以前）地元の方言でアガチャー、ヤマドゥイなどと呼ばれていた

1981 (S56)　ヤンバルクイナの発見（新種として記載、山階鳥類研究所）
　　沖縄県指定天然記念物に指定（沖縄県）
1982 (S57)　国指定天然記念物に指定（文化庁）
1993 (H5)　分布域南限での減少報告（山階鳥類研究所）
　　国内希少野生動植物種（種の保存法）に指定（環境庁）
1998 (H10)　４個体の人工孵化に成功（ネオパークオキナワ）
1999 (H11)　やんばる野生生物保護センター開館（環境庁）
2000 (H12)　沖縄県がマングースの捕獲事業を開始
2001 (H13)　環境省がマングースの捕獲事業を開始
2002 (H14)　安田区ネコ飼養に関する規則施行（国頭村安田区）
　　ヤンバルクイナたちを守る獣医師の会によるペット遺棄防止キャンペーン開始
2004 (H16)　やんばる地域ロードキル発生防止に関する連絡会議設置
　　ヤンバルクイナ保護増殖事業計画策定（環境省・国交省・農水省・文科省）
2005 (H17)　ネコの愛護及び管理に関する条例施行（国頭村・大宜味村・東村）
　　ヤンバルクイナ救命救急センター設置（ＮＰＯ法人どうぶつたちの病院　沖縄）
　　マングース北上防止柵設置（沖縄県）
2006 (H18)　ヤンバルクイナ保護シェルター・ヤンバルクイナ観察小屋設置（国頭村）
　　ヤンバルクイナ個体群存続可能性分析に関する国際ワークショップ
2007 (H19)　初めて飼育下繁殖に成功（ＮＰＯ法人どうぶつたちの病院　沖縄）
　　ヤンバルクイナの飼育下繁殖に関する基本方針作成（環境省）
2008 (H20)　ヤンバルクイナ飼育下繁殖事業開始（環境省）
2010 (H22)　ヤンバルクイナ飼育・繁殖施設完成（環境省）
2015 (H27)　ヤンバルクイナ保護増殖事業 10 ヵ年実施計画策定（環境省）
2016 (H28)　やんばる国立公園の新規設定
2017 (H29)　やんばる森林生態系保護地域の設定
2021 (R3)　「奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録

マングースがやんばるに侵入（1990 年代）

ヤンバルクイナのマスコットのクイちゃん

# わたしたちにできること

**ペットは最後まで責任をもって飼いましょう。**

放し飼いされたり捨てられたペットが野生動物を捕食してしまいます。

**車は法定速度を守って運転しましょう。**

特に注意看板の近くでは速度を落としましょう。

**ゴミの管理をしっかりしましょう。**

捨てられたゴミを食べてヤンバルクイナの天敵のカラスが増えてしまいます。

製　作：環境省 やんばる野生生物保護センター
監　修：ヤンバルクイナ保護増殖事業ワーキンググループ
連絡先：環境省 やんばる野生生物保護センター（国頭村比地263-1　TEL0980-50-1025　FAX0980-50-1026）
2023年８月発行